

令和 7 年 第 1 回皆野町議会定例会 開会挨拶

おはようございます。開会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、令和 7 年第 1 回皆野町議会定例会を招集しましたところ、議員全員のご出席をいただき、開会できますこと、心から御礼申し上げます。

議員各位におかれましては、常日頃から地域づくり、まちづくりにご尽力をいただき、敬意と感謝の意を表します。

また、本日傍聴にお越しいただきました皆様におかれましては、足元の悪い中、町政に関心を持って足をお運びいただきましたことに御礼申し上げます。

はじめに、1 月 28 日に発生した八潮市内での道路陥没事故について、男性 1 名が乗車していたトラックが落下してから、早くも 1 か月が過ぎました。いまだ運転手の救出には至っておらず、また近隣自治体の住民生活にも多大な影響を及ぼしています。被害に遭われた方々に対し、心からお見舞いを申し上げます。

本事故を受け、皆野・長瀬下水道組合では、改めて汚水が滞留しやすい箇所について、目視による点検を行い、問題がないことを確認しております。引き続き、日ごろからの安全確認を徹底するよう指示したところでございます。

また、2 月 26 日に発生した岩手県大船渡市の山林火災は、延焼が続き、未だ鎮圧の目途が立っておりません。緊急消防援助隊として秩父消防署から 4 名、消防車両 1 台が派遣され、消火活動にあたっているところです。被災された皆様に心からお見舞いを申し上げますと共に、一刻も早い鎮火と、皆様の安全を心よりお祈り申し上げます。幸い当町では、令和 6 年は 1 件の火災もなく、本年も穏やかに過ごすことができいております。引き続き、町民の皆様、消防署、消防団等のご協力をいただきながら、安心・安全なまちづくりを進めてまいります。

さて、昭和30年3月に誕生した皆野町は、このたび70周年を迎えました。まちを愛し、まちを想う先人たちの一步一步が道となり、皆野町の今を築いていただきました。心から感謝を申し上げます。

その皆野町も今、少子高齢化と人口減少という大きな課題に直面しております。この難局を乗り越え、ふるさと皆野の未来を切り拓いていくためには「みんなでみなもの」。共に想い、共に創るまちづくりが不可欠です。その実現に向け、対話をとおしてより多くの皆様のご理解・参画を得られるよう努めながら、チャレンジを重ねているところでございます。

ここで、12月定例会以降の町の取組を報告いたします。

12月、NPO法人コメリ災害対策センター様と「災害時の物資供給に関する協定」、また町内企業である株式会社浅見商会様と「災害時の給電器・給電可能な車両の貸与に関する協定」を締結しました。民間との連携により、災害への備えの充実を図ったものでございます。

1月には、「新しい公共創生アドバイザー」として株式会社アイマックスの今井良治氏に地域活性化起業人を委嘱しました。氏は、自治会、商店街の活動支援のほか、さいたま市や埼玉県の政策立案の支援活動を行ってきた経歴があり、まちづくりに豊富な知見を有しております。町が目指す新しい公共のカタチ、地域住民、企業など多様な主体が、まちづくりを自分ごととして捉え、助け合い、手を取り合いながら進める、共創のまちづくりに協力を得るものでございます。

2月には、学校給食で鹿肉入りのジビエカレーを提供しました。鹿肉の提供は、昨年2月に下田野地区にオープンしたジビエ加工場、桜東風さんで、町内で捕獲した鹿肉の学校給食への採用は県内初の試みであり、新聞各紙にお取り上げいただきました。今後もジビエ給食を継続し、給食を楽しみながら、地域課題とも向き合う機会をつくっていきたいと考えております。

また、「みんなで皆野 まちおこし万博」を開催しました。町、地域おこし協力隊、町と連携する大学、企業等の取組を紹介、共有するイベントとして初めての開催でしたが、約500人の方にご来場いただきました。当日ご来場できなかった方とも、取組を共有できるよう、まちづくり万博の内容をまとめた報告書を、役場窓口等で配布する予定ですので、ぜひご覧いただきたいと思います。

また、小学校の統合に向けた、保護者・住民向け説明会を、三沢小学校、国神小学校、皆野小学校を会場に実施いたしました。小学校の統合に疑問を呈する、また懸念を示すご意見もありましたが、全体としては、統合に一定の理解を示した上で、統合後の子どもたちの通学や学童保育の対応、環境の変化に対するケア、空き校舎の活用についてのご意見・ご要望が主なものでした。学校教育は次世代を支える人材の育成であり、まちづくりの土台、柱です。それぞれの学校で培われてきた取組、特色を受け継ぐ発展的統合となるよう、今後、統合準備委員会等を組織し、令和9年4月の統合に向け、丁寧、そして着実に進めてまいります。

さて、令和7年度皆野町一般会計予算について申し上げます。

6つの重点施策、

- 1 教育・子育て環境の整備
- 2 生活環境の整備
- 3 行財政改革の推進
- 4 健康づくり機運の醸成と健診受診率の向上
- 5 安心・安全なまちづくりの推進
- 6 地方創生・共創のまちづくりの推進 を掲げ、

総額は57億4,531万1千円で、これに特別会計予算を加えた予算の総額は、81億8,206万5,000円でございます。

昨年３月の町長就任以降、「対話・チャレンジ・幸せの向上」を掲げ、これまで様々な取組を進めてまいりました。まちづくり地区懇談会、移動スーパーの導入、単身高齢者のゴミ捨て支援、皆野駅前「みなのもち」の活用、「みんなで皆野 まちおこし万博」の開催など、地方創生の新たな取組も活発に行われ、町内外の多様な主体を巻き込んだ地域共創が実際に動き始めております。

令和７年度は、引き続きこうした取組を加速させつつ、数年来、町政において検討事項となっていた小学校の統合、新たな学校給食センターの建設、公共交通の見直しなどに、具体的に着手し、大きく歩みを進めてまいります。

また、勤労福祉センター（ふれあいプール・ホット）の廃止については、昨年の１２月定例会において、「より多くの理解・賛同をいただく上で、代替策は重要な要素であることから、施設廃止の条例案の提出の前に、ご意見等をいただく期間を設け、より丁寧に進めたいとの考えから、熟慮の上、令和７年３月定例会での提出としたい」とご説明したとおり、代替策へのご意見等をいただく期間を設け、また、まちづくり地区懇談会等で説明を重ね、より多くの理解・賛同を得られるようこれまで努めてまいりました。限られた財源の中で、少子高齢化に起因する、これからの諸課題に対応していくためには、施設の廃止、代替のサービスへの切替えはやむを得ない決断であり、本定例会に施設廃止の条例案を、関連の予算案と合わせ提出いたしました。今後も、町の将来を見据え、困難な課題にも、しっかりと対応しながら、町民、事業者の皆様の幸せの向上を目指していく所存でございますので、何とぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

本定例会の町長提出議案は、付議事件一覧表のとおり、４１議案でございます。

ご審議を賜り、可決、承認、同意いただきますようお願い申し上げます。挨拶といたします。